

## Bitnami VM

以前ESXi用のPhoton OSに、HomebridgeとHome Assistantの両方をインストールしてみたが、うまくいかなかったという経験がある。

話が変わるがSynologyがNASにDokuwikiパッケージを提供するのをやめることになりDSM7にアップデートする障害となっていた。その対策を探していたらVMwareがBitnamiというもので、最小のDebianで構築された特定のアプリケーションというものがあることを知った。そこでDokuwiki用を見つけたが、その他にnode.jsだけ含まれているを見つけた。

これなら考えていた事ができるのではないか？思わずまた試してみたくなった。

## Oracle VM VirtualBox

ovaファイルはESXi用というわけではなくWindows上だとVMware PlayerとかOracle VM VirtualBox(以下VBox)上で動かすことができる。VBoxで動かすには、ダウンロードしたovaファイルを、ただダブルクリックするだけでよい。インポートの画面がでてくるので、とりあえず無変更でインポートした。インポート完了後、メモリを512MB → 1GB、ディスク容量を32GBに変更して、起動。

bitnamiはベースがDebianということもあってapt-getが普通に使えてよい。これでいいんだよ。

```
sudo apt-get install nano

sudo apt-get install python3-dev
sudo apt-get install samba-common <- 普通は必要ないので注意

sudo npm install -g --unsafe-perm homebridge homebridge-config-ui-x
sudo hb-service --allow-root --user bitnami
```

次にファイヤーウォールのポートを開放する必要がある。

```
sudo ufw allow 8581
```

8581というのが開けたいポート番号を入れる。簡単で分かりやすくてすごく良い。他も見習ってほしい。

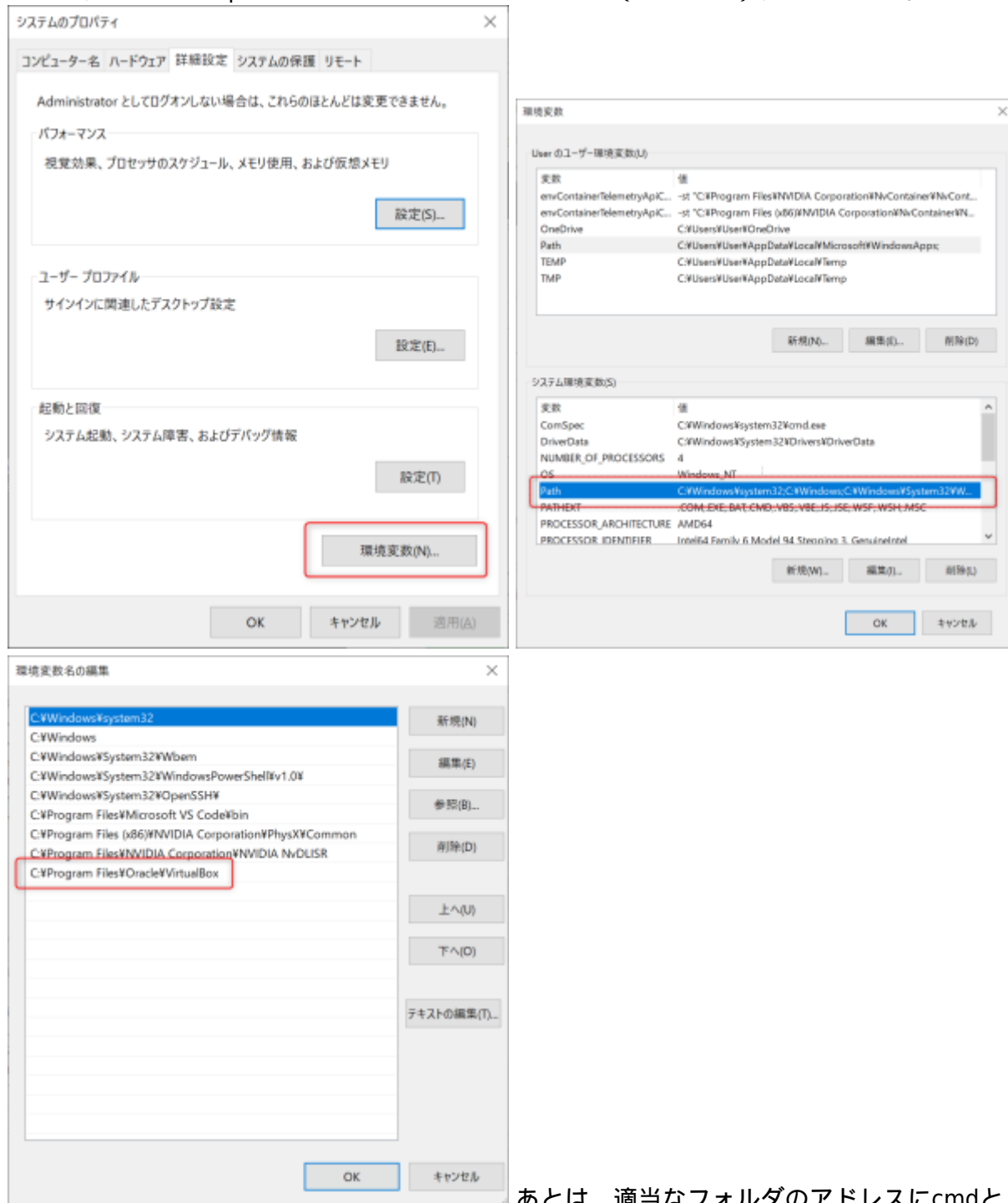
またエラーが大量に出ている。今度は/usr/bin/の下にnodeが含まれていないとの事。ググってこれを見つけた。感謝。 [nvmでnodeをインストールしているのにdeployしたら/usr/bin/env: node: No such file or directoryが出る場合 - mikami's blog](#)

```
sudo ln -s "$(which node)" /usr/bin/node
```

とりあえずHomebridgはこれで動いた。

# OSのエクスポート

VirtualBoxで構築したOSは、再度OVAファイルとしてエクスポートすることができる。まずWin + Rでファイル名を指定して実行[sysdm.cpl]と入力して、システムのプロパティを開く。詳細設定タブより環境設定、環境変数のpathにVirtualboxのパスを追加して（下図参照）、下準備完了。



あとは、適当なフォルダのアドレスにcmdと入力して、コマンドプロンプトを開き、下記を入力すれば、そのフォルダ内にOVAファイルを生成する。

```
vboxmanage export bitnami-node -o 2in1.ova
```

ここで注意するのはbitnami-nodeというのはVirtualBoxマネージャーに表示されている名前を指定する2in1はファイル名（任意）。

From:

<http://deepsky.jp/wiki/> - うごくといいな

Permanent link:

<http://deepsky.jp/wiki/doku.php?id=memo:pc:bitnami>

Last update: **2025/10/19 13:50**

